



圏央道（国道468号） 鶴ヶ島ジャンクション～（仮称）川島インターチェンジ

記者発表資料

「目標宣言プロジェクト」により、平成19年度開通を目指している 圏央道（国道468号）の鶴ヶ島ジャンクションから（仮称）川島インターチェンジ間の工事の進捗状況についてお知らせします。

平成19年度の開通に向け、準備着々！！

1. 圏央道鶴ヶ島ジャンクションから（仮称）川島インターチェンジ間の21橋梁のうち、**最後の橋桁設置工事を**、平成19年11月9日（金）から、おっべがわ越辺川橋で、**開始**します。
2. 工事は、稀少植物の生育等、自然環境に配慮しながら、慎重に進めて参ります。
3. 今回の橋桁設置箇所を含む鶴ヶ島ジャンクションから（仮称）川島インターチェンジ間延長約7.7kmを、**「目標宣言」どおり、平成19年度に開通**させる予定です。



位置図



平成19年11月1日の状況

平成 19 年11 月 6 日（火）

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ
横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

お問い合わせ先



国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

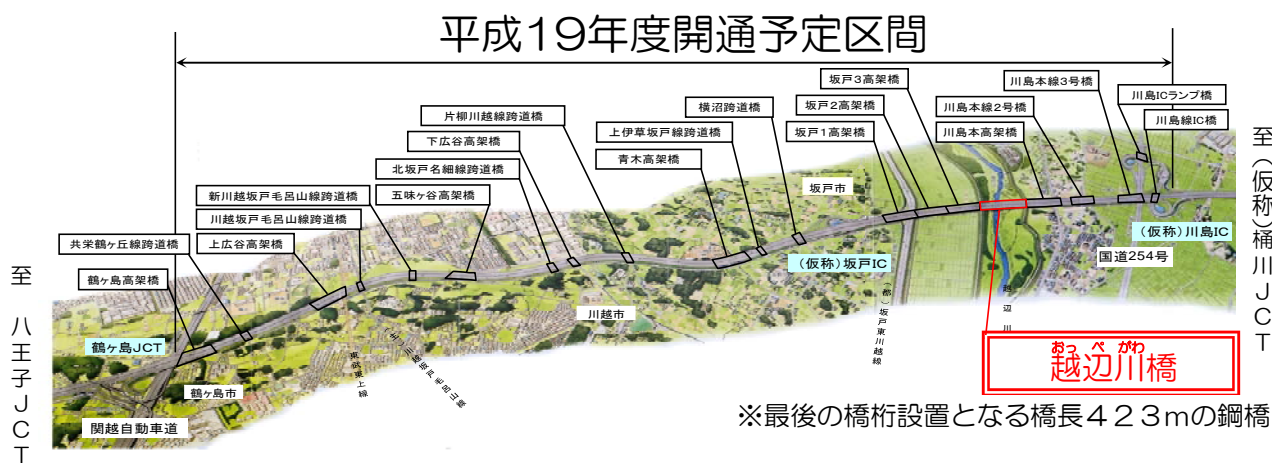
電話 048-669-1200 (代)

副所長 いちかわ ひろし 市川 広志 (内線205)

工務課長 ふかさわ てつや 深沢 哲也 (内線411)

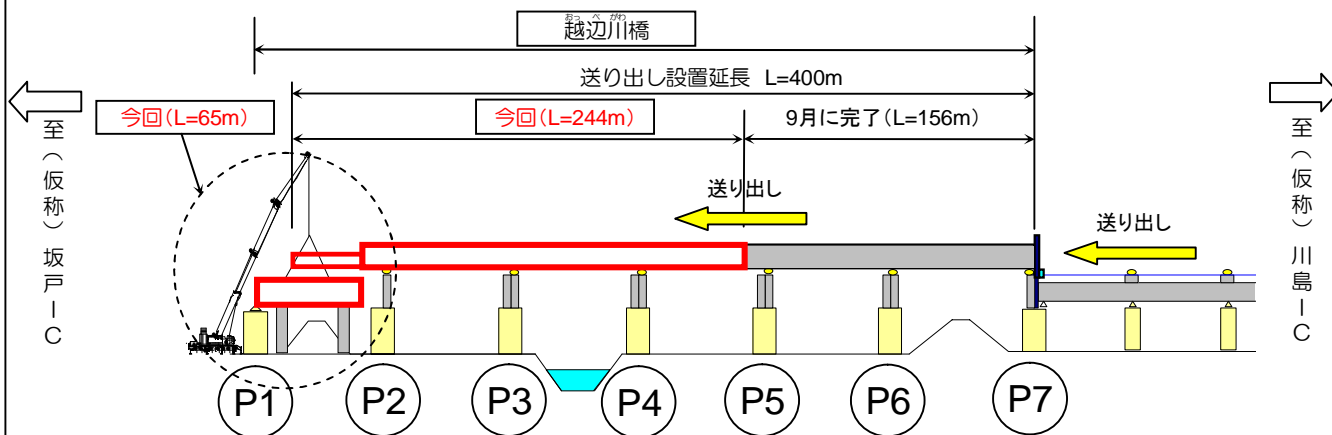
1. 最後の橋桁設置工事の状況

- 今回の工事は、圏央道鶴ヶ島ジャンクションから（仮称）川島インターチェンジ間の **21 橋梁**のうち、**最後の橋桁設置**工事になります。
- この工事の完了により、鶴ヶ島ジャンクションから川島インターチェンジ間が、**全線つながります**。今後、さらに床版、高欄の設置工事などを進め、平成19年度の開通を目指します。
- 今回の橋桁設置は、^{おっぺがわ}越辺川橋で、**11月9日（金）から29日（木）までの21日間**で実施する予定です。



◆（参考）最後の橋桁設置工事はこんな工事です。

- 今回は、送り出し延長 L=400mのうち、残りの L=244mの送り出しを行います。
- 更に、P1～P2間の橋桁 L=65mをトラッククレーンにより設置します。
- 橋桁の設置完了に引き続き、床版、高欄などの施工を行います。



- 送り出し工法とは、隣接する橋梁から「橋桁」を推進装置（油圧ジャッキ）により送り出すものです。

2. 越辺川橋周辺の環境への配慮

猛禽類の生息への配慮

- **繁殖期の工事を休止**（3月～9月）
- 猛禽類が生息する良好な周辺環境を保全するため、**とまり木**の設置、**清掃活動**等を実施
- 工事による猛禽類への影響を把握するため、専門家の指導・助言に基づいて、**工事監視モニタリング**を実施



とまり木の設置



清掃活動



工事監視モニタリング

稀少植物の生育への配慮

- 現地で発見された希少種に関して、念のため、工事の実施範囲について**移植**し、また外来種の除草も実施



碎石上で発見された
稀少植物の移植



外来種の除草状況

3. 圏央道の概要

- 圏央道は首都圏3環状の一翼を担い、首都圏の環境改善・道路交通の円滑化等に資する延長約300kmに及ぶ重要な道路です。
- 圏央道には早期開通を求める多くの声を頂いており、「目標宣言プロジェクト」に位置づけ、開通目標並びに開通目標達成条件を公表するとともに、毎年度、事業進捗目標とその達成度を公表し、徹底した事業進捗管理のもとで事業を進め、圏央道事業効果の早期発現に努めています。
- なお、このプロジェクトにより圏央道全体を今後約10年で完成させる予定です。
- 埼玉県内では、今回の橋桁設置箇所を含む鶴ヶ島ジャンクションから（仮称）川島インターチェンジ間の延長約7.7kmを平成19年度に完成させる予定。引き続き、順次、東北道に向かって完成させ、関越道から東北道間を平成24年度に完成させる予定です。

